

CASBEE-建築(新築)2014年版
(仮称)ダイレックス伯爵店

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.6
Q1 室内環境			0.40					2.7
1 音環境		2.6	0.15					2.6
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		3.0	0.40					
1 開口部遮音性能		3.0	1.00					
2 界壁遮音性能		3.0	-					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-					
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		2.0	0.35					2.0
2.1 室温制御		3.0	0.50					
1 室温		3.0	0.50					
2 外皮性能		1.0	0.17					
3 ゾーン別制御性	空調ゾーニングをした。またゾーン別に冷房・暖房を選択可能とした。	4.0	0.33					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		1.0	0.30					
3 光・視環境		2.0	0.25					2.0
3.1 昼光利用		3.0	0.50					
1 屋光率		3.0	-					
2 方位別開口		3.0	-					
3 屋光利用設備		3.0	1.00					
3.2 グレア対策		3.0	-					
1 屋光制御		3.0	-					
3.3 照度		3.0	-					
3.4 照明制御		1.0	0.50					
4 空気質環境		4.7	0.25					4.7
4.1 発生源対策		5.0	0.50					
1 化学汚染物質	建築材料については、ほぼ全面的にF☆☆☆☆を採用した。	5.0	1.00					
2 放射線		3.0	-					
4.2 換気		4.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.50					
2 自然換気性能		3.0	-					
3 取り入れ外気への配慮	売場について、異なる方位から吸排気を行い、かつ6m以上離れてい	5.0	0.50					
4.3 運用管理		5.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		-	-					
2 喫煙の制御	建物全体は禁煙とし、外部に喫煙コーナーを設けるようにした。	5.0	1.00					
Q2 サービス性能			0.30					2.9
1 機能性		3.6	0.40					3.6
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	-					
2 高度情報通信設備対応		3.0	-					
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化誘導基準を望ましいレベルとした。	4.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30					
1 広さ感・景観	天井高を3.95mとした。	5.0	0.33					
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		4.0	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	外装材は、通常の管理が不要な材料とした。	4.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	ゴミ置き場を確保し、搬出が容易な位置とした。	4.0	0.50					
3 維持管理業務		3.0	-					
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30					2.7
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		2.8	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			1.8	0.20		-	
1	空調・換気設備		1.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		1.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		1.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			2.4	0.30		-	2.4
3.1 空間のゆとり			1.0	0.30		-	
1	階高のゆとり		-	-		-	
2	空間の形状・自由さ		1.0	1.00		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性	構造躯体を痛めることなく、更新可能としている。	4.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30		-	2.2
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.3
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制		モデル建物法によるBPI _m :0.87	4.0	0.20		-	4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI _m 非住宅 0.82 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50		-	4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		モデル建物法によるBEI _m :0.82	4.0	1.00		-	
集合住宅の評価(3c)			-	-		-	
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価			-	-		-	
4.1 モニタリング			-	-		-	
4.2 運用管理体制			-	-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		節水型の衛生器具を採用した。	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60		-	3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.22		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床材:事務室等床	3.0	0.22		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材は容易に分別可能	4.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20		-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)		発泡剤を用いた断熱材を使用していない。	5.0	0.50		-	
3 冷媒			2.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	2.9
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率83%	3.6	0.33		-	3.6
2 地域環境への配慮			2.5	0.33		-	2.5
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			-	-		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
3 交通負荷抑制		自転車置場は建物入口付近の利用しやすい位置とした。	4.0	0.33		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33		-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	1.00		-	
2 振動			-	-		-	
3 悪臭			-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			2.3	0.40		-	
1 風害の抑制			2.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制			-	-		-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		「光害対策ガイドライン」の一部を満たし、「広告物照明の扱い」の過半を	4.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	